

## 「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備			
(施策の小項目)	スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実			
主な取組	〇がんじゅーどー事業	実施計画 記載頁	88	
対応する 主な課題	〇生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	県民の健康づくり活動のを促進させるため、年間を通して安全で安心してウォーキング等のできる道路空間整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
			基本計画	実施計画	実施	→	
担当部課	土木建築部 道路管理課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
がんじゅーどー事業	18,700	18,549	ウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間整備計画策定、利用状況調査等の結果をふまえたモデル5路線を選定した。	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	計画通りに基本計画を策定した。 利用状況調査等の結果をふまえたモデル5路線を選定でき、計画通りの効果が見込める。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
がんじゅーどー事業	142,500	平成26年度に策定した整備計画に基づき、実施計画を作成し、可能であればモデル5路線の整備(7.5km)を行う。	一括交付金 (ソフト)

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

平成26年度の年度別計画では、計画策定としていたため、策定業務を円滑に進めるために、計画策定業務委託業者と密に調整し、計画通りに計画策定をすることができた。  
計画策定の中でモデル路線を道路構造、周辺環境を考慮して選定を行った。

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
運動人口の増加	—	—	524人 (26年)	—	—
状況説明	モデル5路線の現状のウォーキング・ジョギング等利用者数を調査し基準値を設定した。 平成27年度に実施計画を策定し、可能であればモデル路線の整備を実施し、整備後に効果を検証する。 事業初年度で、順調に計画通りに実施できているため、H28目標に寄与できると思われる。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・「健康・長寿おきなわ」を維持継承するため、県民が健康活動(ウォーキング、ジョギング、サイクリング)のしやすい道路空間が望まれている。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県民が健康づくりを行いやすい環境整備を行うため、26年度に選定した5モデル路線の整備推進を図る必要がある。

## 4 取組の改善案(Action)

・モデル路線の整備を進める為に、基本計画を踏まえ実施計画の策定を円滑に推進し、早期にモデル路線の整備実施に着手出来るように図る。

## 「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成	
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備		
(施策の小項目)	○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実		
主な取組	都市基幹公園等の整備	実施計画 記載頁	89
対応する 主な課題	○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。		

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するためスポーツやレクリエーション活動の場として利用できる総合公園・運動公園等の整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体  県 市町村
	69.3% 整備率				72.6%	→	
	総合公園、運動公園等の整備						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
公園費(社会資本交付金)	1,422,224 (450,715)	1,062,629 (450,715)	スポーツ・レクリエーション活動として利用できる場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において用地買収や園路広場、休養施設等の整備を行った。	内閣府 計上
市町村	-	-	スポーツ・レクリエーション活動として利用できる場を形成するため、市町村の総合公園、運動公園等において用地買収や園路広場等の整備を行った。	-
活動指標名			計画値	実績値
整備率			71.0%	67.3% (暫定値)
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	県営公園及び市町村営公園において、用地買収や園路広場等の整備を行い、スポーツやレクリエーション活動の場を拡大したことで、計画値の90%以上の達成が見込める。整備が完了することでスポーツやレクリエーション環境の充実が見込める。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
公園費(社会資本交付金)	2,311,180 (356,265)	スポーツ・レクリエーション活動の場として利用できる場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において、用地取得や園路、遊戯施設等の整備を行う。	内閣府 計上

様式1(主な取組)

市町村	-	スポーツ・レクリエーション活動の場として利用できる場を形成するため、市町村の総合公園、運動公園等において、用地取得や園路広場、運動施設等の整備を行う。	—
-----	---	---	---

(3) これまでの改善案の反映状況

公園整備の効果を早期に発現させるため、地元自治会、関係者等とも協力しながら円滑な公園整備に努め、さらに首里城公園等の一部完成した公園については部分的な供用開始に取り組むことで、供用面積が増加し、整備率を上昇することができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)	6.0㎡ (22年度)	6.2㎡ (25年度)	6.5㎡	0.2㎡	4.1㎡ (25年度)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
-	-	-	-	—	-

**状況説明**  
 地権者等の協力が得られないことにより、計画的な整備推進ができないため、成果指標としては、基準値とほぼ同値で推移している。今後、H28目標値の達成に向け公園事業の計画的な事業進捗を図るため、早期の公園事業用地取得に努め、事業を推進していく。

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・公園整備を行うにあたり公園予定地の用地確保が必要となるが、用地取得や物件補償において、事業への理解が得られないことや代替地が確保できない等により地権者の協力が得られないため、契約に至るまでの交渉に長期間を要している。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・公園整備については、整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めて、効率的かつ効果的な整備に努め、さらに公園用地取得に向けては、地元自治会、関係者等とも協力しながら事業を推進していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・公園整備については、公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、地元自治会や関係者等の協力を得ながら、事業を推進していく。また、不測の事態にも対応できるよう配慮し計画的な整備を行っていく。

・また、整備効果を早期に発現させるため、部分的な供用も含めて都市公園利用面積拡大を図る。

## 「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成	
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備		
(施策の小項目)	○スポーツコンベンション施設の整備		
主な取組	沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	実施計画 記載頁	89
対応する 主な課題	○県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出のため、スポーツコンベンションの誘致が必要である。 ○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。		

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	プロサッカーを通じた観光振興や人材育成等のため、県内唯一の日本陸上競技連盟公認の第1種陸上競技場である沖縄県総合運動公園陸上競技場の機能を維持しつつ、J2規格サッカー公式戦を開催できるように改修する。 具体的には、既設メインスタンドの改修及び、バックスタンド・ゴール裏スタンドの新設、屋外照明灯の新設、大型映像装置の新設、外構の改修を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
				一部供用開始(H27.3月)	全面供用開始(H28.4月)		県
	J2規格サッカー場の整備(メインスタンド改修等)						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	2,132,713	2,096,090	J2公式戦開催に向けた陸上競技場の整備として、本体施設(メインスタンド、バックスタンド、ゴール裏スタンド、屋外照明灯、大型映像装置)の新設・改修を行った。	一括交付金(ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
J2公式戦開催に向けた陸上競技場の改修工事			-	本体施設の完成
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	本体施設(メインスタンド、バックスタンド、ゴール裏スタンド、夜間照明灯、大型映像装置)の整備を完了し、整備後の施設を供用開始(平成27年3月)したことで、プロサッカーに対応した施設の充実を図ることで県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出ができた。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄振興特別推進交付金	65,796	J2公式戦開催に向けた陸上競技場の整備として、外構施設の新設・改修を行う。	一括交付金(ソフト)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

実施設計の際にJリーグや沖縄陸上競技協会等の関係機関との調整に時間を要したため工事着工が遅れたが、工事工程の見直しや工程管理を徹底することで、平成26年度末に一部供用開始することができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
陸上競技場(プロサッカー対応可能)年間利用者数	17万4千人 (22~23年度平均)	5万9千人 (26年)	22万5千人	△11万5千人	-
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	現状値が基準値を下回っている主な要因は、工事期間中(6月~3月)は陸上競技場の利用を中止しており、大会開催数や入場者数が減少したためである。 今後の取組により、J2基準のホームスタジアムが完成し、J2公式戦が開催されるようになれば、平成28年度の目標値は達成可能と考える。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・平成26年度に陸上競技場を一部供用開始していることから、平成27年度実施する外構工事は利用者への影響を最小限に抑えるよう仮設対策や工事工程を十分に管理していく必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・事前に指定管理者等の関係機関や利用団体と意思疎通を図り、利用規模の確認や施工手順の検討等の意見交換を密に行うことによって、工程に支障がでないよう対応する。

4 取組の改善案(Action)

・指定管理者及び利用団体と綿密に調整を行い、平成27年度末の施設整備完成及び平成28年4月からの全面供用開始を目指す。